

愛好者の皆様へ

財団法人日本卓球協会 専務理事 木村 興治

今後の接着剤の使用とラケット検査について

国際卓球連盟 (ITTF) における接着剤の使用とラケット検査の決定を受けて 6 月 9 日開催の本会理事会は、主題につき下記の通りの決定をしました。

記

- 1) あらゆる選手が揮発性のある有機溶剤含有接着剤の使用を直ちに止め、本会公認の接着剤を使用することを強く勧告する。
- 2) 選手が本会公認品以外の接着剤を使用することにより、健康に害を与える事故が発生したとしても、本会はその責任を負わない。
- 3) 2007 年 9 月 1 日よりあらゆる大会で「ENEZ」【ENEZ(イー・ネッツ)=ITTF が認可した検査器】によるラケット検査を実施する。試合後検査で陽性 (赤ランプ点灯) となった場合、その該当選手は負けとする。
- 4) ホープス以下の揮発性のある有機溶剤含有接着剤に関する取決めは現状通りとする。
- 5) 揮発性のある有機溶剤含有の接着剤に起因する健康上の事故が発生し、それを ITTF が認め、5 月 25 日の ITTF 理事会決定に基づき、直近の ITTF 主催大会より、「ENEZ」によるラケット検査を実施することが決定された場合、本会もそれに従い、直近の本会主催のあらゆる大会から同様のラケット検査を実施する。結果対応は上記 3) と同様とする。

日本卓球ルールとの関係：上記決定を受けた本年 9 月 1 日改定・施行ルールにつきましては、現在、ルール審判委員会で検討しております (決定次第本会ウェブサイトに記載する) が、8 月 31 日までは現状 2.2.4 ラバーの接着行為等のルール 2.2.4.1 を次の通り一部追加変更して運用するものとします。(ITTF は 5 月 25 日より接着剤の公認を止め、公認済みのものについても、公認を取り消すという決定をした。)

「ラバーをラケット本体に貼る場合、禁止されている溶剤を含んでいないものとして 2007 年 4 月 1 日現在 ITTF に公認されていた感圧接着シート、液体接着剤あるいは JTТА が、揮発性の有機溶剤を含んでいないものとして公認した感圧接着シート、水溶性接着剤または固形接着剤のみを用いて行うものとする。」とします。(本件については、ルール審判委員長承認済みです。)

参考：国際卓球連盟における接着剤に関する 5 月 25 日決定の概略は以下の通りです。

1. 全ての選手が揮発性のある有機溶剤含有の接着剤の使用を直ちにやめることを卓球関係者に告知する。
2. 選手がどのような接着剤を使用するかについては、健康への危険をも考え、自らの責任で決めるものであり、それに伴う影響について、ITTF は一切責任を負わない。
3. ITTF は現存する公認接着剤を公認リストから直ちに引き下げる。
4. ITTF は揮発性のある有機溶剤を含まない接着剤のリストを ITTF ウェブサイトに公表していく。新たな製品についても都度追加していく。
5. 2008 年 1 月 1 日より、ジュニア以下の大会で ENEZ によるラケット検査 (試合後) を実施し、陽性 (赤ランプ点灯) となった場合、その該当選手は負けとする。
6. 2008 年 9 月 1 日より、あらゆる大会でラケット検査を実施する。
7. 今日より、接着剤に起因する健康に影響を与える重い事故が発生し、ITTF-スポーツ科学委員会がそれを認定した場合、直ちにあらゆる大会において検査を実施する。

●本会が ITTF 決定のラケット検査時期と異なることを含め、上記決定を成した理由は以下の通りです。

1. 3 月中旬岡山県で発生した接着剤に起因する健康障害をもたらした重大な事故を受けて、選手への健康を最大限配慮し、2 度と同じような事故が起こらないようにしたいこと。
2. 厚生労働省、文部科学省、上部団体(財)オリンピック委員会より、有害物質を含む接着剤の使用改善に対する強い要望がでていること。
3. 日本は 5 年前より、ITTF の中で、揮発性のある有機溶剤含有接着剤の使用禁止を、さらに、2 年前からは、北京オリンピックは同接着剤の使用のないクリーンな大会にすべきと強く訴えてきたこと。
4. マーケットには代替となる無害で、揮発性のある有機溶剤を含まない接着剤が流通していること。
5. 選手が早く新しい接着剤使用に慣れ、世界に先駆けて技術・体力を高めて欲しいこと。

本年 8 月 31 日までは、「ENEZ」によるラケット検査を行わないので、現状通り揮発性のある有機溶剤含有接着剤を使用することも可能 ※『ただし、トルエン・トリクロロエチレン・ノルマルヘキサン等、特に有害な揮発性有機溶剤に対する検査は従来通り行う。』であるが、上記理由をふまえて「本会公認の接着剤を使用することを強く勧告する」の趣旨を選手に訴えたい。

(本会公認の接着剤は本会ウェブサイトに記載しています。)

以上